

女川原子力発電所モニタリングポストNo.1～6の計測値に係る伝送異常の原因（イメージ図）

別紙 1

通常の状態

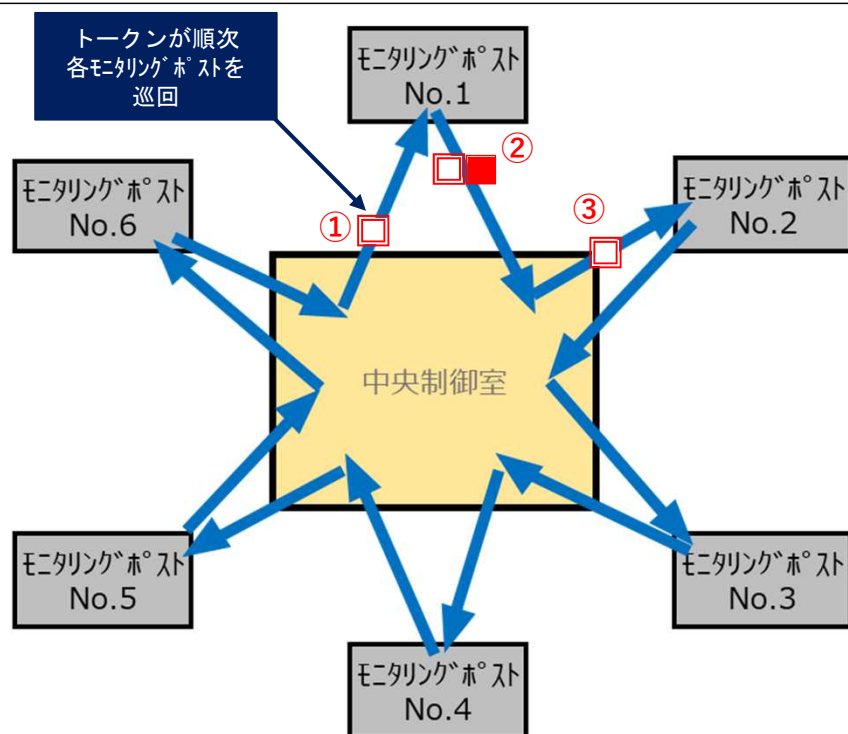
- 通常、モニタリングポストの計測値は、「トークン」と呼ばれるデータ伝送の順番を管理する信号とともに中央制御室に伝送されている。
- トークンは、通常、伝送システム内に1つ存在しており、このトークンが順次各モニタリングポストを巡回し、各モニタリングポストはトークンとともに計測値を中央制御室へ伝送している。

<伝送システム内のトークンおよび計測値の動き>

順番①：中央制御室から流れてくるトークンをモニタリングポストNo.1が受信

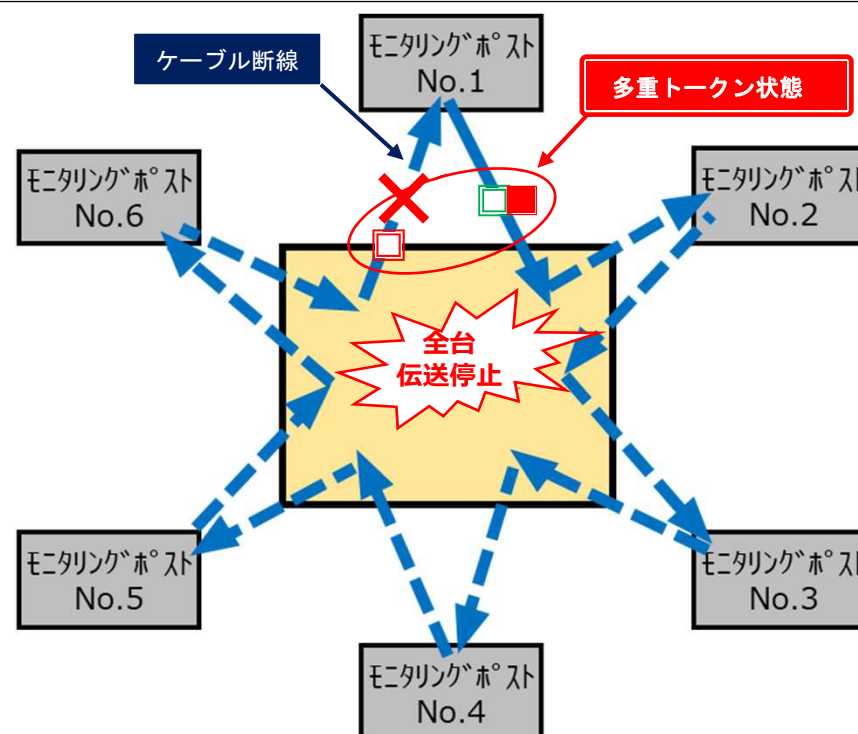
順番②：トークンを受信したモニタリングポストNo.1はトークンおよび計測値を中央制御室へ送信

順番③：トークンは、次の順番であるモニタリングポストNo.2へ（以降、繰り返し）



モニタリングポスト全台の伝送が停止した状態

- モニタリングポストNo.1と中央制御室を結ぶ伝送ケーブルの芯線の一部が断線したことにより、モニタリングポストNo.1は、トークンを受信できない状態となった。
- トークンを受信できないモニタリングポストNo.1は新たなトークンを発信した。（一定時間トークンを受信しない場合、No.2以降のモニタリングポストからの中央制御室へのデータ伝送を継続するため、新たなトークンを発信する仕様となっている）
- これにより、伝送システムが異常（トークンが2つ存在する「多重トークン状態」）を検知したため、モニタリングポスト全台の伝送停止に至った。



凡 例

□ : トークン

■ : 計測値

➡ : 伝送ケーブル

□ : 新たなトークン